

## 5-6 田代地域

### (1) 地域の現況

| 地域の概要     |   |
|-----------|---|
| 面積        | 306.70km <sup>2</sup><br>市全体の34%                                      |
| 人口        | 6,265人、市全体の8%<br>2015(平成27)年 国勢調査                                     |
| 世帯数       | 2,195世帯、市全体の8%<br>2015(平成27)年 国勢調査                                    |
| 15年間の人口増減 | 1,635人の減少(21%減)<br>2000(平成12)年7,900人から<br>2015(平成27)年6,265人へ<br>※国勢調査 |



| 地域を代表する主な施設等 |  |
|--------------|--|
| 施設等          | 田代総合支所、田代公民館、田代図書館、田代体育館(グリアス田代)、田代総合福祉センター、地域包括支援センター長慶荘、矢石館遺跡、たしる温泉ユップラ、小畑勇二郎記念館、ロケットエンジン燃焼試験場 |
| 駅            | 早口駅(JR奥羽本線)  |
| 医療施設         | —  |
| 学校           | 早口小学校、山瀬小学校、田代中学校  |
| 工業団地         | 羽貫谷地工業団地、岩瀬工業団地  |
| 公園緑地         | 田代岳県立自然公園、五色湖緑地公園、外川原地区米代川河川緑地、田代スポーツ公園  |
| 景観           | 田代岳、十ノ瀬山、岩瀬川溪流、五色湖(山瀬ダム)、早口ダム  |

田代地域は、市北西部に位置し、西側が北秋田市・藤里町、北側が青森県に隣接する地域です。面積は306.70km<sup>2</sup>で、市全体の34%を占めています。

一級河川米代川が地域の南側を横断し、その支流である岩瀬川と早口川の二つの流域から形成されています。山地が北部・中央部の大部分を占めており、川沿いに広がる平地が住宅地や農用地として利用されています。岩瀬川上流にはロケットエンジン燃焼試験場があり、宇宙航空産業の発展に寄与しています。

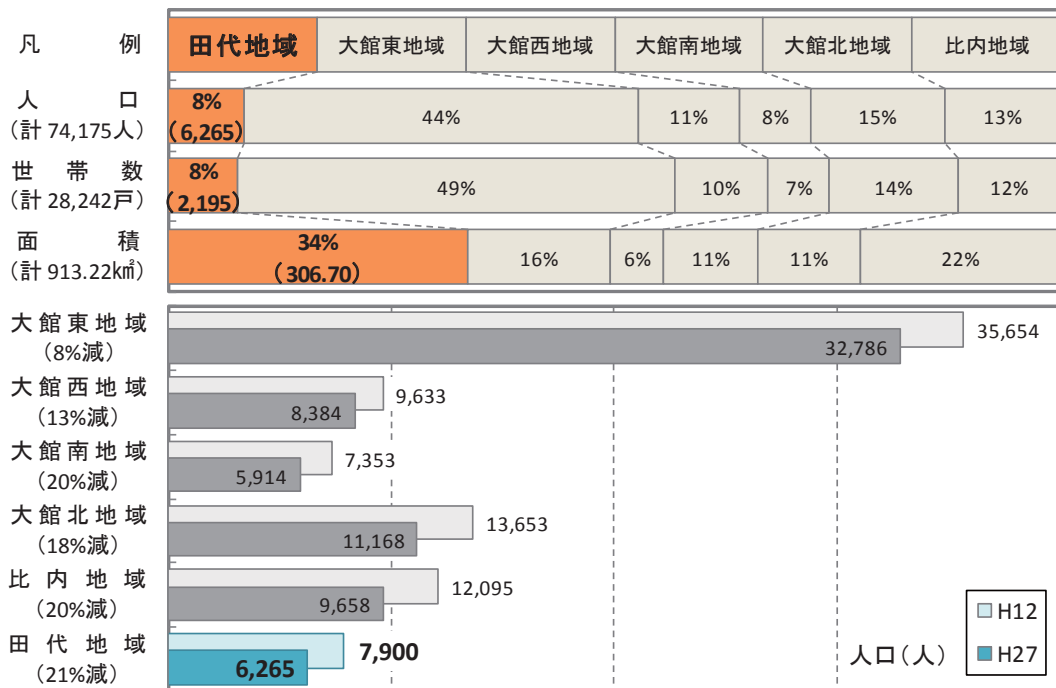
早口駅から国道7号を挟んだ北部には、高齢者福祉施設や体育施設、診療所等の健康・福祉・医療サービスが集積しています。田代岳に代表される豊かな自然景観は地域に広く親しまれており、地域内外の人々との交流を促進する観光資源となっています。

【土地利用】

- 早口駅周辺は舟運の船着場としてはじまった集落であり、まとまった住宅地を形成しています。
- 南部の米代川や、岩瀬川・早口川沿いの平地には、農用地と農村集落が混在しています。
- 農用地は水稻を中心に、野菜等が生産されており、繁殖牛やさくら豚を中心とした畜産も行われています。
- 岩瀬地区には、羽貫谷地工業団地、岩瀬工業団地が形成されており、地域の雇用の場となっています。
- 山地部の森林は、地域の約9割を占め、古くから森林資源に恵まれている地域です。山瀬ダム周辺の山地部は、市営牧場があり、放牧場として利用されています。

【人口・世帯】

- 人口 6,265 人で本市の 8%、世帯数 2,195 世帯で本市の 8% を占めています。1 世帯当たりの人員は 2.9 人となっています。
- 2000（平成 12）年からの人口減少率は約 21% であり、約 1,600 人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成 12）年、2015（平成 27）年 国勢調査  
面積…2014（平成 26）年 10 月 1 日 GIS・国土の情報（全国都道府市区町村の面積）  
※端数の処理により、見かけ上の合計が 100% とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 縄文時代晩期前半の石棺が出土した矢石館遺跡が県史跡に指定されているほか、「代野番楽」、「蛭沢獅子踊り」、「山田獅子踊り」が市指定文化財となっています。
- 本地域の出身で、秋田県の発展に尽力した元県知事、小畑勇二郎記念館があります。
- 田代岳の火山景観、田代岳湿原の池塘（ちとう）景観、北部の滝や溪谷、早口や深岱等の河岸段丘等の河川景観等、優れた自然景観に恵まれています。

- 田代岳をはじめ、十ノ瀬山や米代川等は身近な風景として親しまれています。
- たけのこや鮎、大館ブランドとして確立されたさくら豚、廃校を利活用した生ハム製造等、豊かな自然と気候を活かした特産品がつくられています。

### 【観光レクリエーション】

- 田代岳県立自然公園を中心に、山瀬ダム周辺の五色湖ロッジや五色湖緑地公園キャンプ場等の自然を活かした観光資源があります。
- たけのこ祭り、大鮎の里ふるさとまつり、五色湖祭り等の観光イベントが開催されています。
- たしろ温泉ユップラは温泉入浴・保養・宿泊施設として利用され、周辺の体育館や野球場、オートピクニック広場等の施設とともに、地域住民をはじめとする市民によるレクリエーション活動の場として利用されています。
- ペットと泊まれる宿泊施設として、五色湖ロッジが整備されています。
- 米代川の河川敷には外川原地区米代川河川緑地が整備されており、イベント等に活用されています。

### 【主要公共施設】

- 早口駅周辺に公共公益施設が集積しています。
- 早口駅の北部には、たしろ温泉ユップラをはじめ、高齢者福祉施設や体育施設（グリアス田代）等の健康・福祉サービスが集積しています。
- 岩瀬川と早口川の上流に山瀬ダム、早口ダムがあり、治水と安定的な水供給の役割を担っています。

### 【交通基盤】

- JR奥羽本線が国道7号と並走しており、早口駅が立地しています。
- 地域の南部を国道7号が横断し、主要幹線道路となっています。
- （主）白沢田代線が、国道7号から岩瀬川沿いを北上し東部の大館北地域に連結しています。

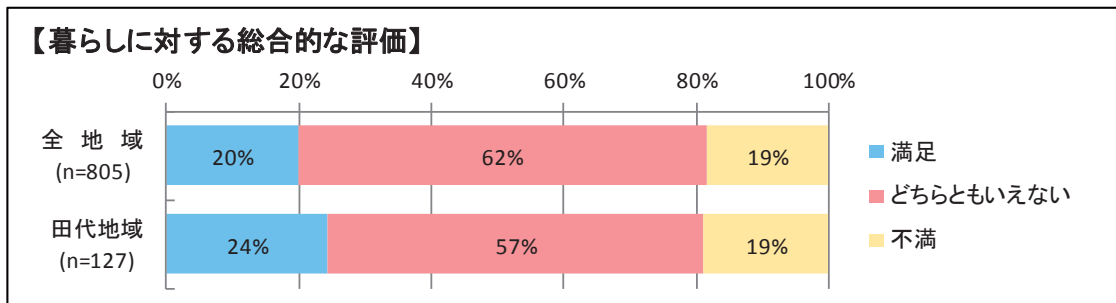
### 【まちづくり活動】

- 早口・山瀬小学校、田代中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、ふるさと元気復興支援農園活動、作物作りと販売、地域ボランティア等の活動を行っています。
- 地域の有志が中心となり設立された「元気なたしろ盛上げ隊」は、地元野菜や工芸品の販売等を行う「たしろきのご祭」開催の中核を担う等、地域住民、商工業者、商工会等と協働し、地域活性化に繋げる活動を行っています。
- 地域の高齢者が生きがいを持って自立できる生活基盤の確立を目指し設立された「山田地域づくり協議会」は、通販サイト「達人市場」の開設や、マイタケオーナー制度の実施等、地域の資源を活用した事業を行っています。
- 市民ワークショップでは、雄大な自然景観を活かし、地域を巡る観光コースを確立させたいといった意見が出されています。

### 【市民アンケート】

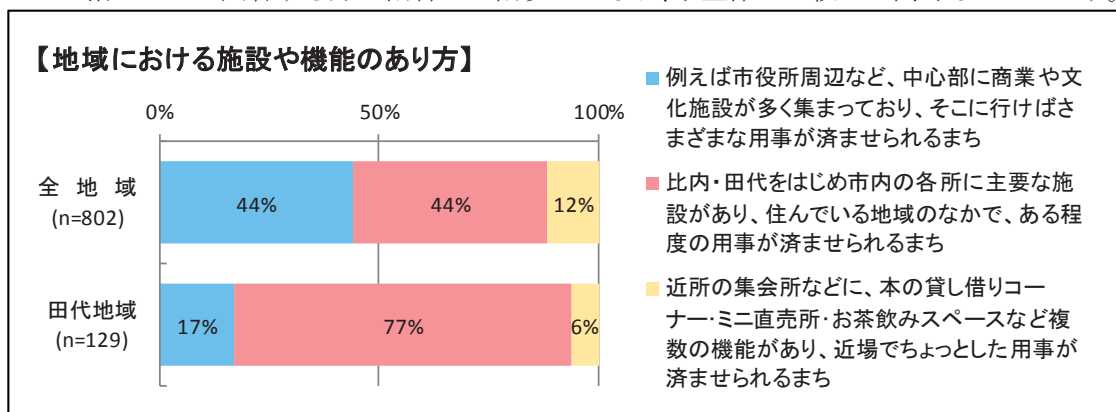
○市民アンケートのうち、全体の約 16%が田代地域に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、田代地域の回答の一部をとりまとめます。

○田代地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて「満足」と回答する割合がやや高くなっています。「不満」と回答した割合は約 2 割で、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が 100%とならない場合があります。

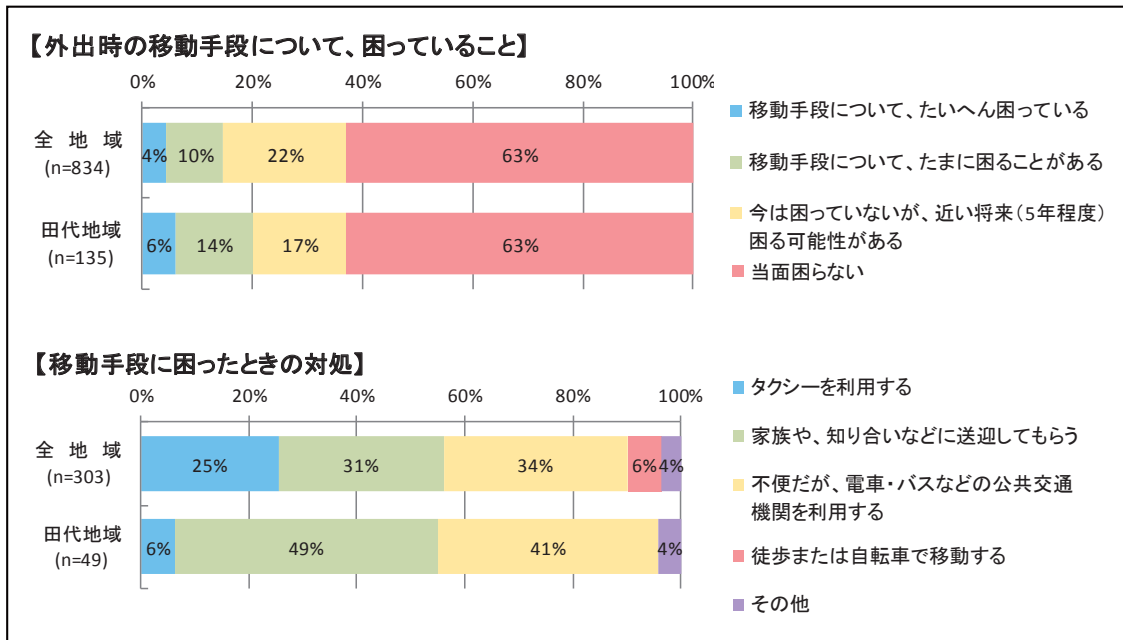
○地域における施設や機能のあり方について、「比内・田代をはじめ市内の各所に主要な施設があり、住んでいる地域のなかで、ある程度の用事が済ませられるまち」を指したいと回答する方の割合が 7 割以上となり、市全体と比較して高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が 100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、全体と比較して「たまに困ることがある」と回答した方の割合がやや高くなっています。

○移動手段に困ったときは「家族や知り合いの送迎」が約5割、「公共交通機関を利用する」という回答が約4割となっています。「タクシーを利用する」は6%と低く、「徒歩または自転車で移動する」は0%となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 大鮎の里ふるさとまつり（田っ中ソーラン）

## (2) まちづくりの課題と方針

たけのこや山菜等、自然に育まれた特産品が生産され、地域のシンボルである田代岳を代表とする豊かな緑に囲まれた地域です。人口減少、高齢化が進行する中、日常の移動を含めた暮らしやすさの維持が課題となっています。

市民ワークショップにおいては、住む人・訪れる人が感じる景観の素晴らしさや、安心して暮らし続けるためのアイデア等が活発に出されました。

さまざまな世代の市民がいつまでも快適に生活できるよう、自然の恵みを産業に活かしながら、地元で働ける環境づくりが必要とされています。また、地域の特色を活かしたイベント等により、市内外の人々との交流を促進し、山川の自然豊かな癒やしの地としての発展が求められています。

これらを踏まえ、将来像を「自然の恵みとともに、多世代が輝く住みよい地域づくり」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

### <田代地域が目指す姿の概要>

| 現況・課題   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 【土地利用】  | 【地域の力】   | 【資源】   | 【機能】   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>自然を活かした居住空間の維持・発展が求められる。</li> <li>農地の維持・保全が求められる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。</li> <li>住まいが土砂災害危険区域に近接。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツレクリエーション拠点や、自然資源の活用が期待される。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>移動手段の確保が求められる。</li> <li>生活環境の向上が求められる。</li> </ul> |

田代地域  
将来像

自然の恵みとともに、  
多世代が輝く住みよい地域づくり

### まちづくりの方針

|   |              |  |
|---|--------------|--|
| 1 | 土地利用がもっと充実する | ゆとりある居住地域として、周辺の自然環境と調和を図りながら、計画的な土地利用を推進します。          |
| 2 | もっと地域の力を活用する | コミュニティを活発化し、郊外部を含む地域全体において、安心して暮らし続けるための地域づくりを推進します。   |
| 3 | もっと資源をつなげる   | 美しい自然景観を保全・活用しながら、田代地域を訪れてもらうための取り組みを推進し、交流人口の拡大を図ります。 |
| 4 | もっと機能をつなげる   | 高齢者等が移動に困らないための取り組みを推進し、居住環境の維持・向上を図ります。               |



## ＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

### 1 土地利用がもっと充実する

【課題】早口駅周辺は、大館の中心部と北秋田市の中間点に位置し、外川原地区米代川河川緑地も隣接していることから、利便性が高く、うるおいある居住地域の形成が求められます。

#### 【方針】

- 早口駅北側地区を低密度住宅地として位置づけ、周辺の自然環境との調和に配慮したゆとりある居住地域の形成を図ります。
- 本市と北秋田市の居住エリアとして、ゆとりある住宅整備の促進や生活道路・公園等の都市基盤整備等、住宅及び住環境の計画的な整備推進を図ります。

【課題】地域の農村景観を形成する農地の維持・保全が求められます。

#### 【方針】

- 早口川沿いは顕著な河岸段丘で、特色ある農村景観となっていることから、農業施策と連携しながら、これら農地の維持・保全を図ります。

### 2 もっと地域の力を活用する

【課題】少子高齢化が進行する中、地域における人と人のつながりを保ち続けることが求められます。

#### 【方針】

- 地域応援プランの活用等により、地域コミュニティの育成、活動の活発化を図ります。

【課題】市民アンケートでは、地域における施設や機能のあり方について「地域のなかである程度の用事が済ませられるまち」が求められています。また、郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

#### 【方針】

- 小学校区等、複数の集落が集まる基礎的な生活圏の中で、交流の中心となる小さな拠点の形成について検討を進めます。
- 郊外部等の地域については、農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点との連携を図ります。

【課題】早口駅周辺や農村集落等、居住空間と土砂災害危険区域が近接しています。

#### 【方針】

- 居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、秋田県が行う土砂災害対策に基づき、危険箇所の周知に努め、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

▶ 【方針】

- 早口小学校の「ふるさと元気プロジェクト」、山瀬小学校の「やませっ子経営塾」等、ふるさとキャリア教育や地域応援プランの取り組みを地域に広げ、子どもと大人が影響し合いながらともに成長できる機会を創出します。
- 子どもの遊び場や、高齢者が楽しく暮らせる安心のまちを目指しながら、市外や他の地域から田代地域を「訪れたい」と思われるような魅力ある地域づくりを推進します。

### 3 もっと資源をつなげる

【課題】スポーツ公園、田代体育館（グリアス田代）、ユップラ等が集積するエリアをスポーツレクリエーション拠点として有効に活用することが期待されます。

▶ 【方針】

- スポーツレクリエーション拠点について、環境整備等の推進やPRの促進により、田代地域だけではなく市全体における活用を図ります。
- 市民のニーズやスポーツレクリエーション活動の動向を踏まえた拠点の整備を促進します。

【課題】豊富な自然資源を観光に活かし、地域の魅力向上や交流人口の拡大が期待されます。

▶ 【方針】

- 特産品であるたけのこや自然を満喫できる魅力を活かすとともに、修学旅行生の受入れを主とするグリーンツーリズムに取り組み、まるごと体験推進協議会の活動に協力しながら、引き続き交流人口の拡大に努めます。
- 従来の薬師山や高陣場に加えて、藤の郷のような新たな観光資源の発掘と磨き上げを行い、身近なレクリエーションの場の提供を図るとともに、田代岳については案内人の育成を図ります。
- 地域住民と協力しながら、資源マップの作成やツアー企画による観光ルートの形成について検討します。
- 山瀬ダム周辺における散策道の維持管理を図りながら、ペットと泊まれる宿泊施設として整備した五色湖ロッジを拠点とし、首都圏等のペット愛好家をターゲットに集客を図ります。

【課題】山地景観、溪流や滝等の河川景観、湿原等の池塘（ちとう）景観等、充実した自然環境を後世へ残していくことが求められます。

▶ 【方針】

- 地域のシンボルである田代岳をはじめとして、豊かな自然環境の維持・保全を図ります。
- 身近な自然に親しめる場として、カヌー体験会の開催等、外川原地区米代川河川緑地のさらなる活用について検討します。



## 4 もっと機能をつなげる

【課題】 田代地域は、北秋田市と本市の中心市街地をつなぐ位置にあり、住みよい居住環境を維持・向上することが求められます。

### 【方針】

- 早口駅周辺等、住宅が集積する地域においては、狭あい道路の解消や生活道路の整備推進を図ります。
- 集落地域等では、田園や山々等の良好な自然に囲まれた住みよい地域づくりを進めるため、安全性、利便性、快適性、文化性等を考慮し、生活環境の維持・向上を進めます。

【課題】 市民アンケートでは、「移動手段に困ったときに家族や知り合いによる送迎を利用する」割合が高く、ご近所付き合いや家族同士の助け合いといったコミュニティ意識が高い地域である一方で、外出時の移動手段について「大変困っている」・「たまに困ることがある」と回答した方の割合が市全体と比較して高くなっています。

### 【方針】

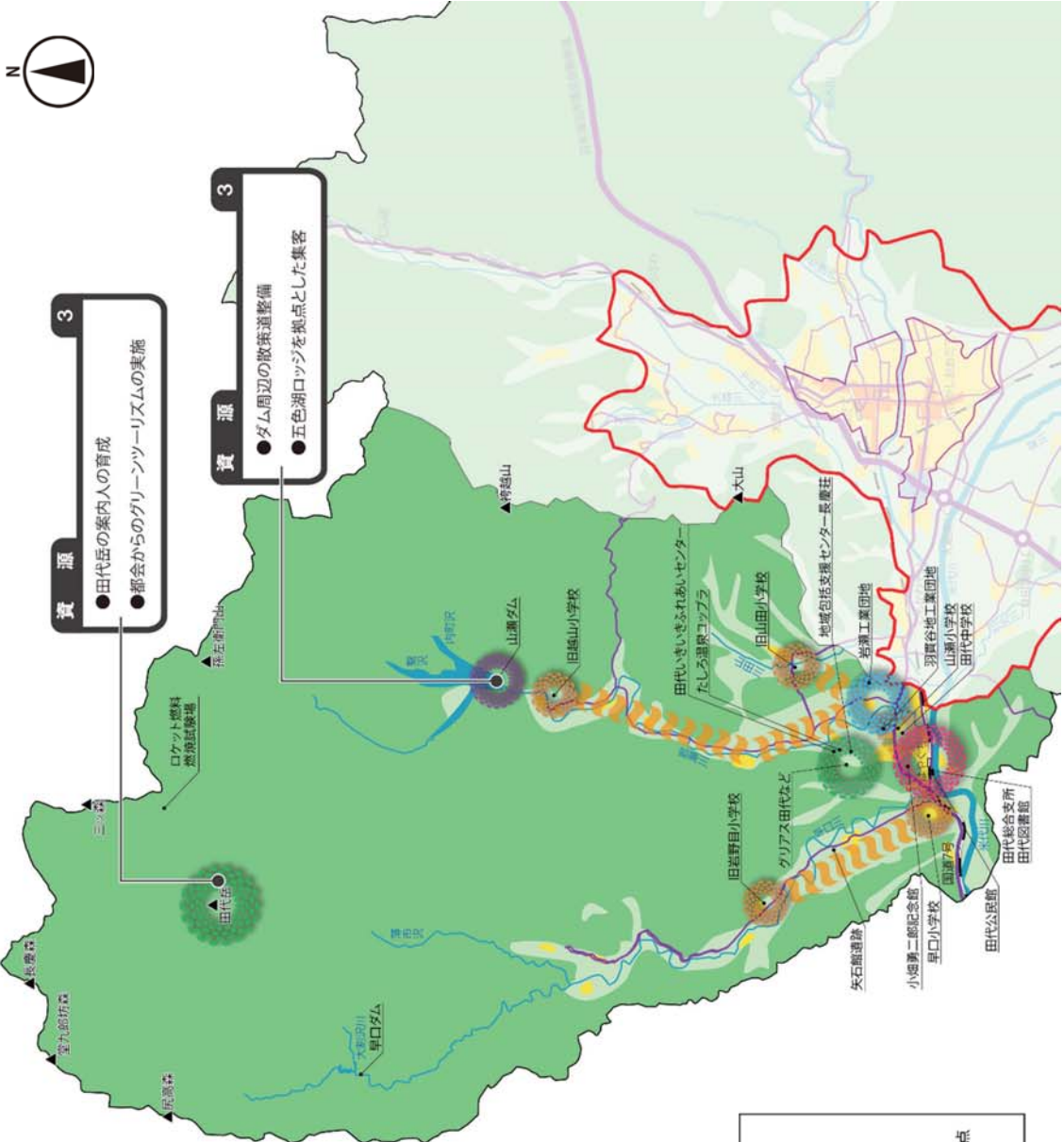
- 公共交通に関する情報を提供するツールを作成しホームページで発信する等、利用者への周知を推進し、公共交通機関にアクセスしやすい環境づくりを行います。
- 早口駅等、交通結節点における機能の向上を図り、公共交通による移動の利便性を高めます。
- 地域住民やNPO、社会福祉協議会が主体となった送迎ボランティア等、地域助け合い型の移動サービスの導入に向けて取り組みます。

【課題】 市民ワークショップでは、バスの待ち時間を楽しく過ごすための場づくりや、運転免許返納後の支援に関する意見が挙げられています。

### 【方針】

- バス停における待合スペースの確保や充実等、快適に利用できる待合環境の改善を図ります。
- 運転免許を自主返納した高齢者を対象に、協賛店での割引やタクシー利用料金の割引等の優遇措置を継続するとともに、取り組みの周知、拡大に努めます。

# 田代地域のまちづくり方針



- 1 土地利用がもっと充実する**  
 ゆとりある居住地域として、周辺の自然環境と調和を図りながら、計画的な土地利用を推進します。
- 2 もっと地域の力を活用する**  
 コミュニティを活性化し、郊外部を含む地域全体において、安心して暮らし続けるための地域づくりを推進します。
- 3 もっと資源をつなげる**  
 美しい自然景観を保全・活用しながら、田代地域を訪れてもらうための取り組みを推進し、交流人口の拡大を図ります。
- 4 もっと機能をつなげる**  
 高齢者等が移動に困らないための取り組みを推進し、居住環境の維持・向上を図ります。

**資源**

- 田代岳の案内人の育成
- 都会からのグリーンツーリズムの実施

**資源**

- ダム周辺の散策道整備
- 五色湖ロッジを拠点とした集客

**凡例**

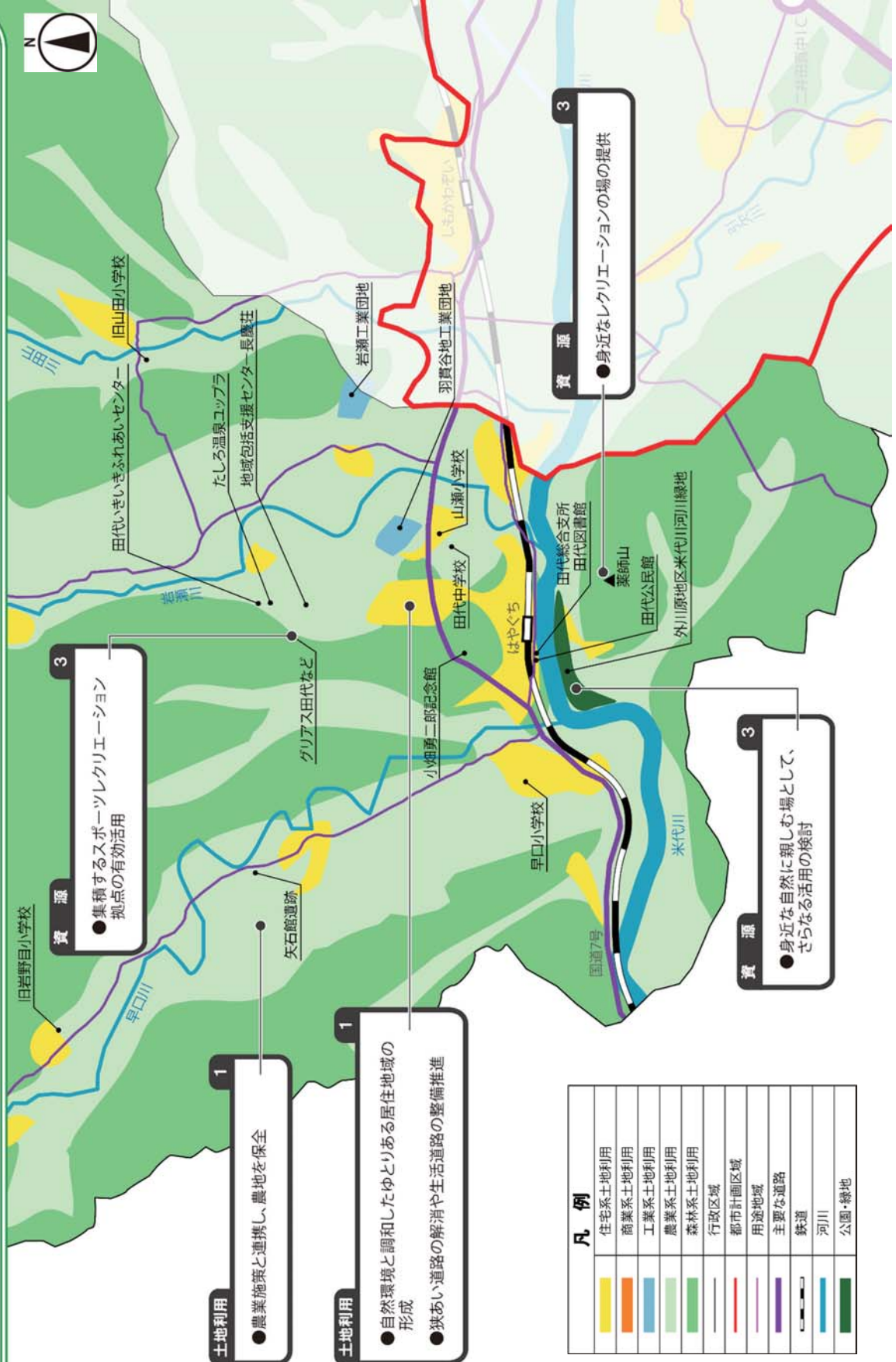
|         |
|---------|
| 住宅系土地利用 |
| 商業系土地利用 |
| 工業系土地利用 |
| 農業系土地利用 |
| 森林系土地利用 |
| 行政区域    |
| 都市計画区域  |
| 用途地域    |
| 主要な道路   |
| 鉄道      |
| 河川      |

**まちの拠点と連携軸**

- 賑わい創出の拠点
- まちを支える工業拠点
- 緑とふれあいの拠点
- 観光・交流の拠点
- 生活の支えとなる地域拠点
- 〰 地域連携軸

# 田代地域のまちづくり方針（拡大図）



**凡例**

|         |
|---------|
| 住宅系土地利用 |
| 商業系土地利用 |
| 工業系土地利用 |
| 農業系土地利用 |
| 森林系土地利用 |
| 行政区域    |
| 都市計画区域  |
| 用途地域    |
| 主要な道路   |
| 鉄道      |
| 河川      |
| 公園・緑地   |

**土地利用**

- 農業施策と連携し、農地を保全

**土地利用**

- 自然環境と調和したゆとりある居住地域の形成
- 狭あい道路の解消や生活道路の整備推進

**3**

- 集積するスポーツレクリエーション拠点の有効活用

**3**

- 身近な自然に親しむ場として、さらなる活用の検討

**3**

- 身近なレクリエーションの場の提供



## コラム ～未来の日常をイメージしよう～

田代岳に代表される豊かな自然に囲まれ、気候を活かした特産品づくりが盛んな田代地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・子どもも高齢者も、楽しくふれあえるような地域にしていけたらいいな
- ・田代岳等の貴重な資源を全国の人々に知ってもらい、訪れてもらいたい
- ・地域のみならず、一つ一つできることから取り組んでいきたい

「**田代岳・早口・山瀬両ダムと早口駅中心部を巡る観光コースづくり**」が  
実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

### ○自然を活かした魅力をPR！

- ・田代岳や早口・山瀬ダム、五色湖等と、早口駅周辺を巡る観光コースは、美しい景色がSNSで人気となり、市内外から観光客がやって来る場所となっている。
- ・十ノ瀬藤の郷のように、地域に眠っていた資源が再注目されて人気を集めている。インターネットを用いたPRも大成功で、訪れる人が増えている。

### ○多世代がともに輝ける地域へ！

- ・田代体育館（グリアス田代）やたしる温泉ユウプラでは、若者と高齢者が交流できるようなイベントが開催され、交流の場として賑わっている。
- ・学校と地域が連携する機会が増えたことで、広い年代の住民同士が意見を出し合い、地域づくりを進めていこうという思いが高まっている。

### ○暮らし続けるための仕組みが確立！

- ・車の運転が難しくなっても、バス等を利用して病院へ通うことができ、地元の野菜等を購入する場所が確保されている。
- ・発展した技術を活用し、自動運転によってバス停まで行き、まちなかや色々なところへ移動できる暮らしができています。

### ○住民主体の地域づくり！

- ・ふるさと田代活性化プロジェクト等を通じて、地域のことを知る機会がますます増え、住民みんなが「自分にできること」を意識しながら暮らしている。
- ・ふるさとキャリア教育と地域応援プランとの結びつきがさらに強くなり、子どもも大人も、地域について考え、行動する機会が多くなっている。

### ○地域の宝物がさらに輝く！

- ・マイタケオーナー制度や旧山田小学校の生ハム等、特産品の知名度はますます高まり、田代名産たけのこ祭りやきのこ祭りは毎年大きな盛り上がりを見せている。
- ・地元の鮎を使った大鮎の里ふるさとまつりには地域内外から参加者が集まり、田代地域の魅力を多くの人に感じてもらう場となっている。
- ・五色湖ロッジは、雄大な自然の中でペットと楽しく過ごせる場として人気が高まり、宿泊に訪れる人が増加している。